

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
				公表日	令和7年12月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・日によってバラツキはありますが、全体的には大丈夫だと思います。 ・生徒の特性に配慮してグループ分けをしている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・その日の活動人員に応じて活動出来ている。 ・生徒の状態に合わせて職員が配置されていると思う。 ・ABCのグループで行き来している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	・スロープが用意されていて、動きやすくなっている。	・手すりがあればいいと思う。 ・災害時、緊急時に車いすの移動が難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・掃除を毎回行っている。 ・毎日掃除が、行われている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	・生徒の状態等によって使用する部屋を分けている。	・グループが全ての部屋を利用していたら、使えない状態。 ・個別の部屋は無いので、必要だと思います。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%		・パートなど、末端までは、行き届いていないと思います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	62.50%	37.50%		・職員の意見等は把握しているが、その内容を業務の改善につなげていないものがある。 ・個人的に面談は、時折必要だと思います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		・外部評価をしているのか分からない。 ・分からない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・いろいろな研修にも参加する機会も増え、学ぶ事も多くなった。	・法人内の研修の機会はある。外部のものになると時間帯などの関係もあり、受講の機会は少ない。
支援体制	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87.50%	12.50%		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	75%	25%	・児童の発達に応じて改善されて来ていると思う。	・保護者のニーズは反映されているが子どものニーズは反映されていないところがあると思う。子どものニーズを反映させる必要がある。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・職員の意見交換や聞き取りしながら改善されて来ている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	37.50%	62.50%	・個々の様子を見ながら改善する時にはやっている。	・標準化されたツールはないので作る必要がある。 ・分かりません。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	87.50%	12.50%		・家族支援に関しては、もっと密に連絡を取り合うべきだと思います。

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・児童の様子を見ながら活動内容を変えたりと工夫はしている。 ・グループのリーダーが中心となって考えている。 ・チームリーダの発案に対して意見交換の機会がある。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			・もっといろいろなを取り入れてもいいと思う。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・読み合わせ、会議を行い討議されている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・次の日に前日の支援の振り返りを行っている。 ・支援当日は難しいので翌日行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	62.50%	37.50%		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	57.10%	42.90%		・何処まで参加しているかも分からぬ。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71.40%	28.60%		・主治医や医療機関との連携はまだまだと思っています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33.30%	66.70%		・何処まで出来ているかも知らない。 ・小学生の利用がないため、していない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71.40%	28.60%		・良く分からない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12.50%	87.50%		
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	20%	80%		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28.60%	71.40%		・家族との時間が一番長く大切だと思うのでぜひペアレントトレーニングを取り入れ欲しい。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83.30%	16.70%		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	85.70%	14.30%		・ご家族の意向を伺う事はあっても本人の意向は十分に聞き取れてはいない。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	85.70%	14.30%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	62.50%	37.50%		・他の店舗はしていると思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	62.50%	37.50%		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%		・委員会で準備を進めている。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87.50%	12.50%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	62.50%	37.50%		・現在、対応の仕方を検討中。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	33.30%	66.70%		・現在、委員会で検討中。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	87.50%	12.50%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			